

著作権問題に関するご注意

最近、諸外国の例を含めて著作権・主権権をめぐるトラブルが増えております。学会誌、論文報告集をはじめ学会出版物へ投稿される場合、他の文献からの引用にあたっては、出典明記や執筆者の責任のおける事前許諾など、所定のルールがありますので十分にご配慮下さい（野々村 敏：著述と引用、土木学会誌 63 巻 12 月号、p. 77 参照）。また、学会出版物とくに示方書や基準類等から引用も事前に文書による許可が必要な場合がありますので、手続きは事務局編集課へお問合せ願います（内容によってはコピーまたは校正刷の提出を求めることがあります）。

（土木学会事務局編集課）

● 討議について ●

この論文報告集に掲載された論文に対する討議はすべて土木学会論文集編集委員会あてとし、その締切期日は昭和 57 年 10 月 20 日とする。

All communications and discussion (open until October 20, 1982) relating to the papers included in the Proceedings should be addressed to the Editorial Committee on Technical Publications, Yotsuya 1-chome, Shinjuku-ku, Tokyo, 160 Japan

土木学会論文報告集に投稿される場合は、「土木学会論文報告集投稿要領」をご参照のうえ原稿をお寄せ下さい。「投稿要領」をおもちでない方は学会事務局編集課へご請求下さい、お送りいたします。

土木学会論文集編集委員

◎印 主 査 ○印 幹 事

委員 長	吉 川 和 広	副委員 長	首 藤 仲 夫	幹 事 長	竹 内 邦 良		
委 員	赤 石 勝	委 員	大 町 達 夫	委 員	杉 浦 征 二	委 員	長谷川 和 義
"	秋 山 晴 樹	"	大 森 邦 雄	"	須 田 薫 博	"	長谷部 正 典
"	芦 沢 哲 藏	"	緒 方 信 彦	"	○関 善 功	"	早 川 林
"	足 立 紀 尚	"	奥 村 忠 彦	"	善 功 企	"	上 田 秀 一
"	阿 部 忠 行	"	梶 太 郎	"	高 須 修 二	"	樋 上 寛 陽
"	荒 井 孝 雄	"	金 井 道 夫	"	高 田 至 郎	"	福 野 九 三
"	飯 島 尚 治	"	神 山 直 能	"	○竹 内 邦 良	"	○堀 江 毅
"	◎池 田 尚 治	"	川 口 直 孟	"	武 田 宏 夫	"	松 井 康 訓
"	石 川 信 隆	"	◎木 村 俊 則	"	武 田 宏 夫	"	松 岡 康 訓
"	石 田 東 健	"	京 才 俊 則	"	龍 岡 文 夫	"	松 宮 武 信
"	今 本 健 人	"	栗 原 則 彦	"	田 中 伸 和	"	宮 官 武 信
"	○岩 崎 征 人	"	黒 田 勝 彦	"	田 村 幸 久	"	◎明 形 耕 一
"	上 島 照 幸	"	小 葉 竹 重 機	"	田 村 幸 久	"	◎山 田 健 太郎
"	魚 本 健 介	"	◎小 林 昭 一	"	谷 口 健 久	"	山 田 健 太郎
"	牛 尾 俊 一	"	後 藤 芳 親	"	谷 口 健 久	"	山 本 一 彦
"	梅 木 健 一	"	齊 藤 意 次	"	○徳 江 俊 秀	"	山 本 一 彦
"	梅 本 薫	"	阪 田 意 次	"	富 田 价 彦	"	山 本 一 彦
"	江 頭 和 彦	"	桜 井 孝 修	"	富 田 六 正	"	渡 辺 英 一
"	越 後 勇 吉	"	篠 原 孝 修	"	富 田 六 正	"	渡 辺 英 一
"	海老 淵 潜 一	"	篠 原 孝 修	"	波 田 凱 夫	"	渡 辺 英 一
"	恵 谷 舜 吾	"	◎首 藤 仲 夫	"	成 田 国 朝	"	
"	太 田 俊 昭	"	白 須 孝	"	西 村 宣 男	"	

土木学会論文報告集 No. 320

定価 1 250 円

昭和 57 年 4 月 15 日 印刷

昭和 57 年 4 月 20 日 発行

発 行 者 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地

社 団法人 土木学会 専務理事 川越 達 雄

発 行 所 社 団法人 土 木 学 会 郵便番号 160 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地 振替東京 6-16828 番

電話 (03) 355-3441

印刷所：技報堂，表紙デザイン：中井一郎

お知らせ

論文報告集への投稿者各位へお願い

(昭和 56 年 11 月 24 日, 理事会決定)

土木学会論文報告集はここ数年來投稿編数が激増し、掲載待ち論文が増加して投稿者の方々にご迷惑をおかけしております。一方、購読者数が低迷もしくは減少傾向にあり、財政事情等ともからめて根本的な解決を迫られているのが現状であります。理事会においても種々対策を検討した結果、学会誌等とも連動して内容の改善に最大の努力を傾け、購読者層の拡大を図ることはもちろん、他の学協会等の例にもあるように、著者の方々にも応分のご負担をお願いせざるを得ないと結論に達しました。決して望ましい形とは思えませんが、事態が好転するまでは下記のような二段階の措置を取らせて頂きます。まげてご諒承下さいますようお願い申し上げます。

併行して現在かかえている掲載待ち論文を早く掲載するための措置として、昭和 56 年度後半から 58 年度にかけて 50 編程度を追加処理します。このため学会一般会計からの追加支出を行うとともに、別刷代および超過負担金の実費見直しを行います。これにより、投稿から掲載までの時間を極力短縮するよう努力いたします。

なお、今後は研究費の枠内に研究発表のための経費を組み込まれるようご配慮を得られれば幸いです。

記

1. 現在投稿中で昭和 57 年 4 月号以降の『土木学会論文報告集』へ掲載される場合

(昭和 57 年 3 月号までは従来通り)

現在の別刷代および超過負担金を実情に合わせて次のように改正させていただきます。

㉑ 別刷代の改正

(昭和 57 年 4 月号掲載分より適用)

内容区分	単 位	現 行	改 正 後	備 考
ノ ー ト	1 編当たり (50 部)	2 000 円	5 000 円	4 ページまで
論文・報告	" (")	5 000 円	10 000 円	14 "

㉒ 超過負担金の改正

(昭和 57 年 4 月号掲載分より適用)

内容区分	単 位	現 行	改 正 後	備 考
論文・報告	超過分 1 ページ当たり	実費 (13 000 円)	実費 (20 000 円)	9~14 ページまで

2. 昭和 57 年 4 月 1 日以降受付の新規投稿論文で掲載が決定した場合

諸経費の高騰、投稿状況の拡大傾向を勘案し、昭和 57 年 4 月 1 日以降、新しく投稿される論文は、㉑ 1 編当たりページ数の改正、㉒ 従来の超過負担金に代わる掲載別刷代の納入の義務づけ、をさせていただきます。㉑ により掲載編数の増加を図り、㉒ により増大する一方の発行経費の一部に充当させていただきます。

㉑ 論文 1 編当たりのページ数の削減

(昭和 57 年 4 月 1 日以降受付分より適用)

	現 行	改 正 後
標準の最大 ページ数	8	6
超過分の最大ページ数	6	4
掲載の最大 ページ数	14	10

注：ノートは従来どおり 4 ページ

㉒ 掲載別刷代

(昭和 57 年 4 月 1 日)
以降受付分より適用)

内容区分	単 位	掲載別刷代	備 考
ノ ー ト	4 ページまで	15 000 円	別刷50部とも
論文・報告	6 "	20 000 円	"
"	7 "	30 000 円	"
"	8 "	35 000 円	"
"	9 "	60 000 円	"
"	10 "	85 000 円	"

以上に伴い、「土木学会論文報告集投稿要項・同手引」は昭和 57 年 4 月 1 日付で改訂いたしました。なお、ご不明の点があれば事務局編集課論文報告集係 (03-355-3441・内線 23) へお問い合わせ下さい。

学校教育に 社内研修に 学会出版物を

ご注文は 〒160 東京都新宿区四谷1丁目無番地
土木学会刊行物係 ☎03(355)3441(内線38,39)

土質

土質実験指導書 (B 5・700円・630円・〒300円)

土木材料

土木材料実験指導書(基礎編) (B 5・800円・720円・〒300円)

土木材料実験指導書(応用編) (B 5・1000円・900円・〒300円)

コンクリート標準示方書 (A 5・3100円・2800円・〒350円)

コンクリート標準示方書解説 (A 5・3600円・3250円・〒350円)

プレストレストコンクリート
標準示方書 (A 5・3000円・2700円・〒300円)

構造

構造実験指導書 (B 5・1500円・1350円・〒300円)

構造力学公式集 (B 5・6600円・6000円・〒400円)

構造力学公式集例題集 (B 5・3600円・3300円・〒300円)

鋼構造架設設計指針 (B 5・3000円・2700円・〒300円)

仮設構造物の計画と施工 (B 5・6000円・5400円・〒350円)

測量

測量実習指導書 (B 5・1000円・900円・〒300円)

土木製図基準 (A 4・2800円・2500円・〒350円)

製図のかき方 (A 4・3500円・3200円・〒350円)

航空写真のみかた (A 4・3800円・3400円・〒350円)

自動作画の基礎技術 (A 4・3000円・2700円・〒350円)

水理

水理実験指導書 (B 5・1000円・900円・〒300円)

水理公式集 (B 5・6000円・5400円・〒450円)

水理公式集例題集 (B 5・1800円・1600円・〒300円)

衛生

衛生工学実験指導書(プロセス編) (B 5・1800円・1600円・〒300円)

衛生工学実験指導書(現場調査編) (B 5・2600円・2400円・〒300円)

一般

海外建設工事の契約・仕様 (A 5・6000円・5400円・〒350円)

建設プロジェクトの進め方 (A 5・2800円・2500円・〒350円)

建設プロジェクトの分析と評価 (A 5・6000円・5400円・〒350円)

土木工事の積算と実際 (B 5・4800円・4300円・〒350円)